



平成 24 年 10 月 12 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 マ ル マ エ
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 前 田 俊 一
(コード番号 : 6264 東証マザーズ)
問 合 せ 先 取 締 役 管 理 部 長 藤 山 敏 久
(TEL. 0996-64-2900)

平成 24 年 9 月 度 月 次 受 注 残 高 に つ い て の お 知 ら せ

当社は、投資家をはじめとするステークホルダーの方々に、より正確に当社を理解していただくために、自社情報のタイムリー・ディスクロージャーを推進しておりますが、この一環として、下記のとおり当期平成 24 年 9 月 度 月 次 受 注 残 高 情 報 を 開 示 い た し ま す。

記

1. 月次受注残高 (百万円未満切捨て)

区分	受注残高	割合	対前月増減率	対前年同月増減率
F P D 分野	162	81.2%	87.1%	△3.5%
半導体分野	25	12.8%	1.8%	17.6%
その他	12	6.0%	△13.6%	—
合計	200	100.0%	58.9%	4.8%

2. 月次受注残高の推移 (百万円未満切捨て)

区分	H23. 10 月	11 月	12 月	H24. 1 月	2 月	3 月
F P D 分野	113	71	51	44	16	26
半導体分野	46	35	35	31	39	34
その他	2	2	5	45	51	48
合計	162	109	92	123	107	109

区分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
F P D 分野	41	53	41	44	87	162
半導体分野	26	31	26	36	25	25
その他	48	34	35	25	14	12
合計	116	119	103	106	126	200

3. 月次受注残高の概況

平成 24 年 9 月末の受注残高は、F P D 分野における受注回復が鮮明となり、対前月増減率で 87.1% 増、対前年同月増減率では 3.5% 減の 162 百万円となりました。半導体分野においては、受注及び出荷検収が比較的安定して推移したため、対前月増減率で 1.8% 増、対前年同月増減率では 17.6% 増の 25 百万円となりました。一方、太陽電池分野を含むその他分野においては原子力に関連する案件の出荷検収が進んだことから、対前月増減率 13.6% 減の 12 百万円となりました。これらの結果、平成 24 年 9 月末の受注残高は、対前月増減率 58.9% 増、対前年同月増減率 4.8% 増の 200 百万円となりました。

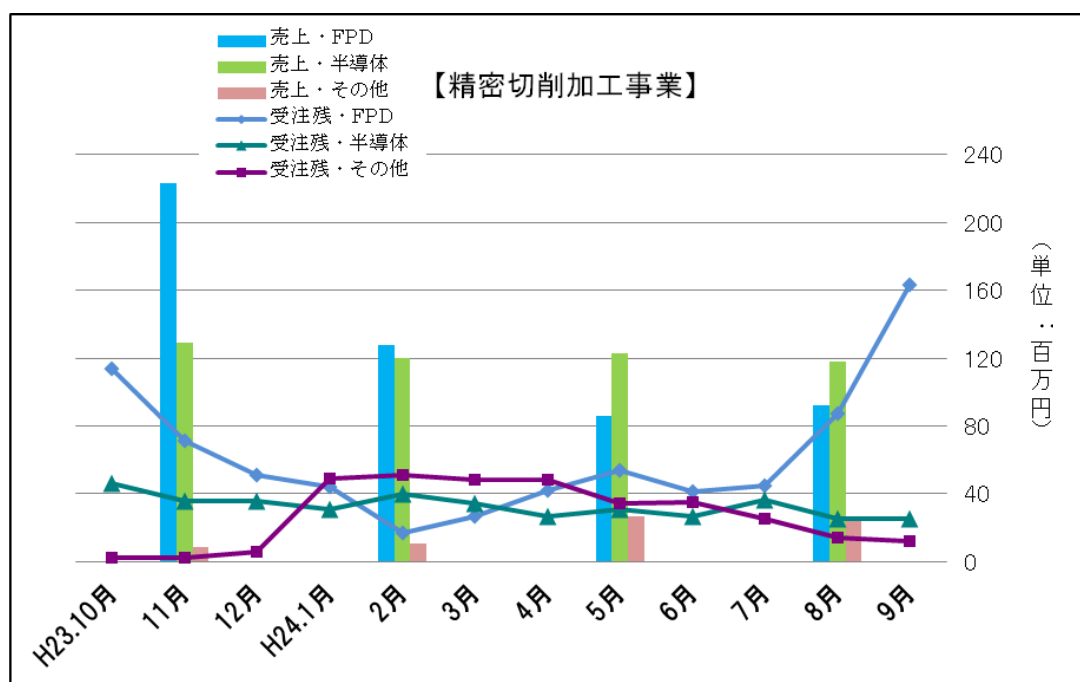
なお、本年度より太陽電池分野の受注残高につきましては重要性が低下したことから、当面は、その他分野にまとめて開示する事といたします。

今後の受注見通しといたしまして、F P D 分野においては、スマートフォン等の携帯端末向け小型設備投資に関連した受注が継続する見通しを持っております。半導体分野においては、市場環境は底ばいの厳しい環境である中で、コストダウンに伴う引き合い増加や新規顧客からの試作受注増加もあり、しばらくは横ばいで推移すると見込んでおります。また、その他分野では、F P D 分野が好調な事から社内生産余力が少なく受注残は減少する見通しですが、中長期的な見地で原子力関連や鉄道車両等の分野への営業活動は継続しております。

全般的には、一部を除き厳しい市場環境が続いておりますが、当社では従来からの量産品につながる試作品や短納期品受注に加え、強みを活かした得意分野受注の増加を図っております。また、協力企業との取引拡大など、生産流動化で市場環境変動に影響されにくい構造改革に取り組んでおります。

以 上

(参考：分野別 過去一年間の四半期売上高と月次受注残高の推移)



注 1. 上記受注残高の数値は、速報値であるため、翌月以降に修正される可能性があります。また、監査法人による会計監査を受けておりませんので、本決算の数値とは差異が発生する可能性があります。

2. 当社の受注残数値は、受注別に長短さまざまなリードタイムを持つことから、売上高と直接関連するものではありません。リードタイムの長い案件が増えると受注残が多くなり、リードタイムが短い当社月間生産能力範囲内の受注が増えると受注残が減る傾向となっております。